

令和4年3月7日

終末期に向けた活動支援事業について（報告）

1 平塚市終末期に向けた活動支援事業検討会

本市では、終末期に向けた活動支援事業について、令和元年度より『平塚市終末期に向けた活動支援事業検討会』を立ち上げ、平塚市の現状を共有し課題を検討しています。

【検討内容】

- (1) 終末期に向けた活動支援事業の検討に関すること。
- (2) エンディングノートの作成に関すること。
- (3) 終末期支援にかかる課題及びその解決策に関すること。

【参加者】

- ・高齢者よろず相談センター
 - 介護予防事業担当者連絡会（保健師、看護師）
 - 主任ケアマネ連絡会（主任ケアマネジャー）
 - 地域支援担当者連絡会（社会福祉士）
 - 認知症地域支援推進員
 - ・成年後見利用支援センター
 - ・在宅医療・介護連携支援センター
- } 各1名

2 これまでの主な取り組み

令和元年度：検討会を年に6回開催し、平塚市の現状を共有しながら平塚市版エンディングノート（わたしのノート）の作成と運用に当たっての課題を検討。

令和2年度：検討会を年に4回開催し、エンディングノート完成と運用方法について検討。高齢者よろず相談センターの普及啓発事業を包括的支援事業の計画に位置付け、エンディングノートの試行と「終活」の普及啓発を開始。

令和3年度：6月からエンディングノートを本格的に配布開始。検討会を年に3回開催し、ノート配布後の課題を検討するとともに、新たに在宅介護生活サポート事業として、看取り期に焦点をあてたサポートツールの検討を開始。終活にかかる研修として、医師を講師に招いて「アドバンス・ケア・プランニングって何？もしバナゲームをしながら考えよう！」を高齢者よろず相談センター職員及び居宅介護支援専門員対象に開催。

3 今年度の検討会の開催状況（令和3年度）

※コロナ禍による検討会の延期あり。

- ・第1回 令和3年5月17日（月）

令和2年度に完成したノートの運用方法の確認等。

※包括向け説明会 令和3年5月25日（火）・・・ノートの運用方法の説明

- ・第2回 令和4年1月28日（金）紙面会議で実施。
ノートの配布状況の確認、配布にあたる課題の整理等。
⇒主な配布場所：市の窓口や各よろず相談センターのほか、サロン、高齢者学級、
公民館、終活セミナー、民児協、認知症カフェ等

- ・第3回 令和4年3月16日（水）Web会議で開催予定。
ノートの課題の検討、新規事業として在宅介護生活サポート事業の検討等。

4 今後の動き

令和4年度についても引き続きノートの配布を進め、終末期に向けた活動支援を行いながら、在宅介護生活サポート事業の検討等、進めていきます。

以 上